



町長コラム
Mayor's column

さくら並木

困難に直面する子どもを支える第三の居場所。

～子どもの権利を保障する道筋づくりの大切さ～

大河原町長 齋 清志

去る5月23日に、本町と特定非営利活動法人アスイク及び公益財団法人日本財団との『子ども第三の居場所事業に関する協定締結式』が行われました。新聞やテレビでの報道もありましたが、ご存知のかたも多いと思いますが、県内町村では初めての取組として紹介されたところです。

本町は現在、第6次長期総合計画後期基本計画の2年目として、『ひと・まち・桜が咲きほころぶ先進のまち』を掲げ、引き続き様々な施策を展開しています。その中でも、住民の幸福を目指す大切さの再認識から、心身ともに健康で幸福な状態が継続するという『Well-being』なまちづくりの推進に力を入れて取り組んでいます。

そのような中、アスイク及び日本財団との連携に基づいた『子ども第三の居場所事業』に取り組むことで、子どもや子育て世帯に対する更なる支援の充実を図ることといたしました。延いては、『子どものWell-being』実現のためにも重要な役割を果たすことにつながるものと期待しています。

そして、具体的には第一の居場所としての家庭、第二の居場所としての

の学校、とは別に、安心して過ごせる場所としての第三の居場所の位置付けとなるものです。将来の自立に向けて『生き抜く力』を育むために、学校・地域のご協力をいただきながら、この『第三の居場所事業』を先々まで継続していけるように最善を尽くしてまいりますと考えています。

この事業は、アスイクが日本財団から開設費と2年間の運営費の助成を受けて行われますが、3年目以降の財源は国の子ども家庭庁の『子ども・子育て支援交付金』を活用することになります。補助割合については、国・県・町が3分の1ずつとなり、『児童育成支援拠点事業費(委託料)』は、全体として214.2万円程となるものです。

また、開設予定地は、町内幸町(105坪)で、1日あたり定員20名で登録ですが、利用料は原則無料で送迎もあります。利用対象者については、町内に居住する小学生(主に低学年)ですが、兄弟での利用等は中学生でも可能です。最後に利用の条件は、①町・学校等からの紹介②不登校等で放課後児童クラブを利用することが難しい状況③保護者が病気や体調不良等により家庭だけでの子育てが難しい状況④経済的に困難な状況

等のいずれかに該当する子どもとなっている。

本町にあっても、急速な少子高齢化の波は押し寄せており、核家族とシングル世帯や共働き世帯が増え、祖父母や親戚・地域の人々が子育てを担っていた時代とは違い、親の育児負担が増加しているのが現状です。また、子どもの出生数も減る一方で、児童虐待やいじめ・不登校も増加の一途を辿っています。町(行政)だけでこれらの課題を解決していくには明らかに限界があり、今後は子どもやその家族を支援する民間団体の果たす役割にも着目し、期待を持って協定の締結に至ったものです。

改めて、子どもの権利を保障する道筋づくりの大切さに気付かされた想いです。

(6月19日記)



▲ 子ども第三の居場所事業に関する協定締結の様子



町内在住の樹木医

尾形政幸先生の花は桜木

第50回 宴のあとのぼんぼりで古木の救済を

2023年は暑い夏で人にもこたえましたが桜も桜まつり会場辺りでは異常落葉が見られ(写真①)、その原因については第41回で夏場の土壌乾燥である旨を述べた通りです。

2年前、さくら祭り会場で「ぼんぼり」を立てる穴掘り作業に遭遇し根が損傷しているのを発見しました(写真②)。昔から繰り返し行われてきたことを考えるとその影響はかなり大きいと思われました。

そこでぼんぼりの位置を道路の路肩からのり面中程までずらしてもらい(写真③)、ぼんぼり撤去後の穴はそのまま残してもらいました。

4)と判明したことです。養分がなくても桜が養分を吸収できない状態です。確かに堤防の桜は管理法が限られています。クエン酸やクエン酸鉄など液体の活力剤を使えば上から撒くだけで土のアルカリ化抑制になり、葉緑素生成など代謝促進へとつながります。

近年は桜も熱中症に罹ります。このような活力剤は誰もが簡単につくれ、しかも安価です。これを住民参加型活動にすれば桜を守ることが出来ます。

堤防の場合、本来穴を掘ってはいけません。河川法の話はここで何度もお伝えしている通り新規植栽はもちろん、枝の支柱さえ堤体に傷を付けないようにと板を敷いて設置しているのが現状です。ですから特例で開けたこの穴は貴重で使わない手はありません。今年5月9日に全約100箇所について「縦穴式土壌改良法」を適用しました。直径20cmほどの穴に木炭チップが入った堆肥と化成肥料を詰め込んだだけなのですが細根発生が旺盛なことが知られており失った根群回復ほか土壌乾燥対策にも役立ちます(写真④)。

さらに今年になって新たな課題が見つかりました。土がアルカリ土壌(pH7・



写真は1人分

くんせいさきいかときゅうりの七味マヨネーズ和え

材料(4人分)

- きゅうり.....2本(200g)
- くんせいさきいか...20g
- マヨネーズ.....大さじ3
- 七味唐辛子.....お好みで

作り方

- きゅうりは千切りにし、キッチンペーパーに包んで水気を切る。
- くんせいさきいかは、2cm程度に切って①に加え、マヨネーズとお好みで七味唐辛子を加えて混ぜ合わせる。



大河原町食育スローガン
「おおがわら」食ではぐくむおこころとからだ
「おいしい食べよう朝ごはん
お奥歯でよく噛み味わいながら
お家族で野菜のおかずを一皿増やし
わが家(町)の食を伝えよう
らくらく(楽々)みんなで食育推進

【ひとり分栄養価】
エネルギー:85kcal 塩分:0.5g

調理担当 ヘルスメイトから一言

くんせいさきいかは塩分が多いので、野菜と一緒に混ぜる調理方法もお勧めです。
きゅうりから水分が出るので、マヨネーズは盛りつけ直前に混ぜ合わせると良いです。